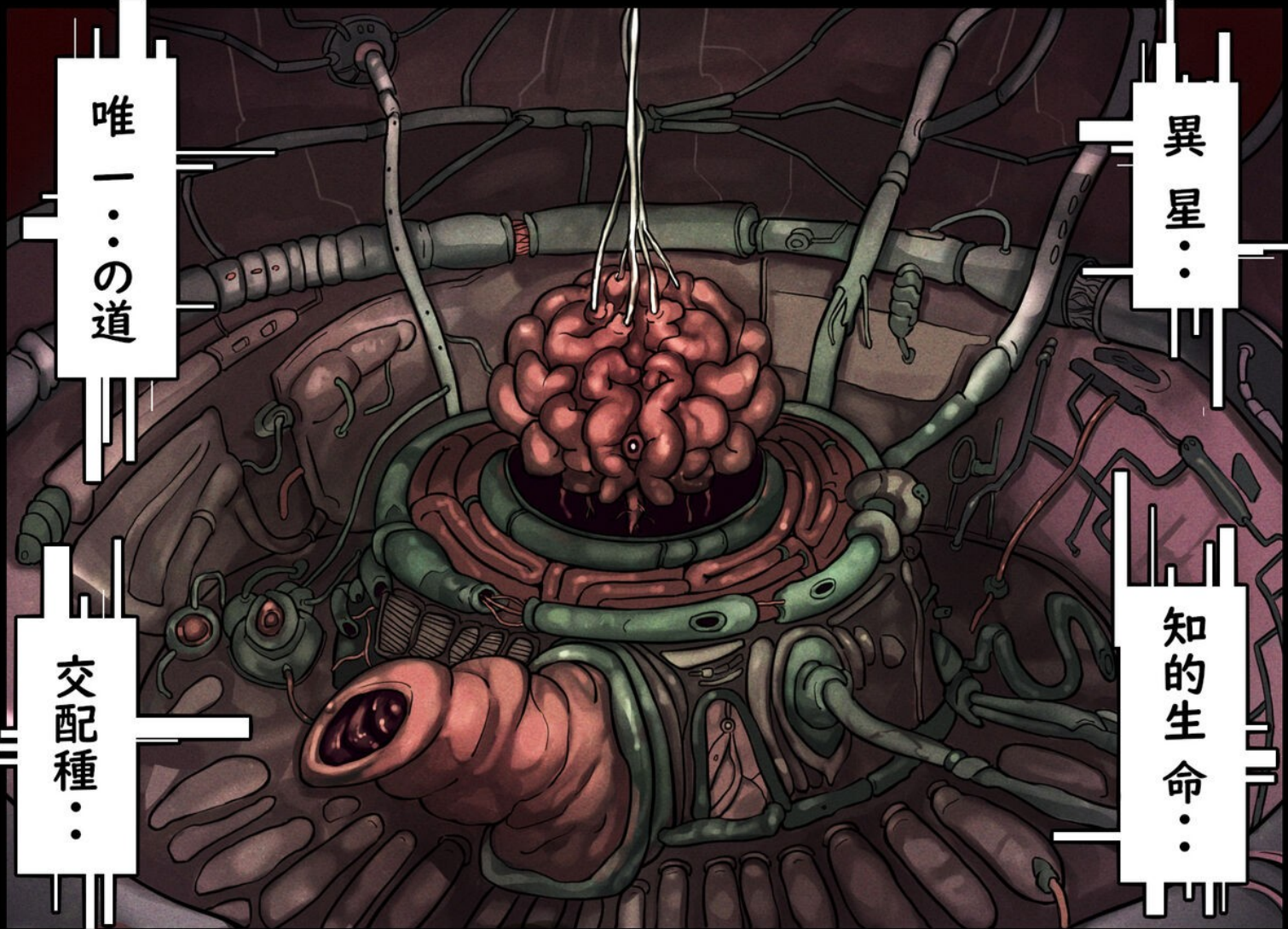


1890

-地球人の子種が欲しい宇宙人VS賞金稼ぎ-



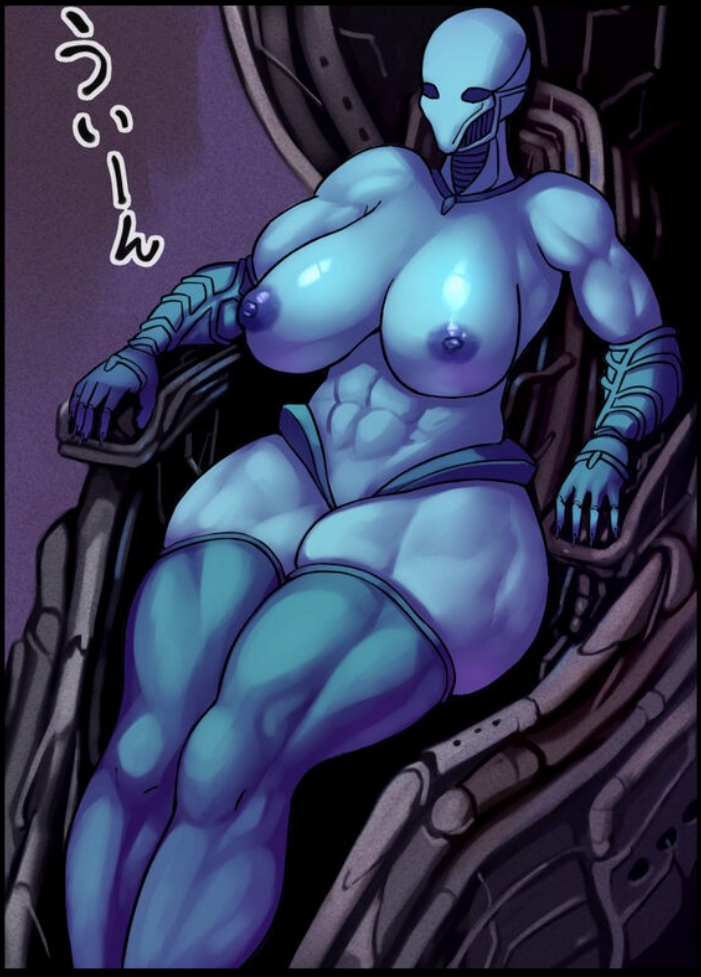


唯一の道

異星

交配種

知的生命



うっわ

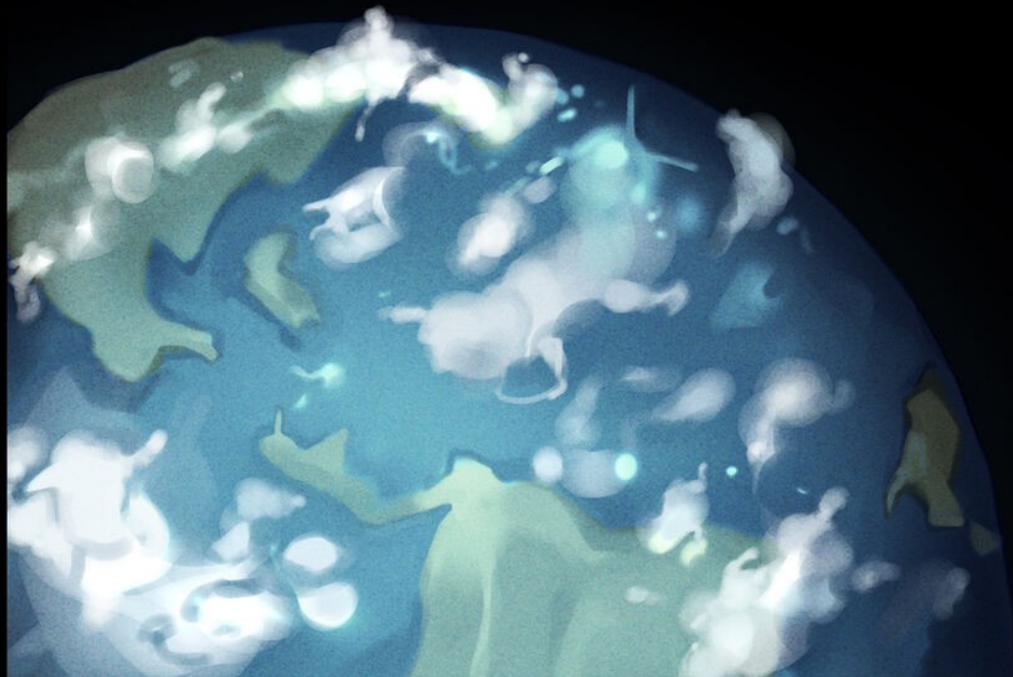
うっわ

うっわ

300



1-1



1890年 ルイジアナ

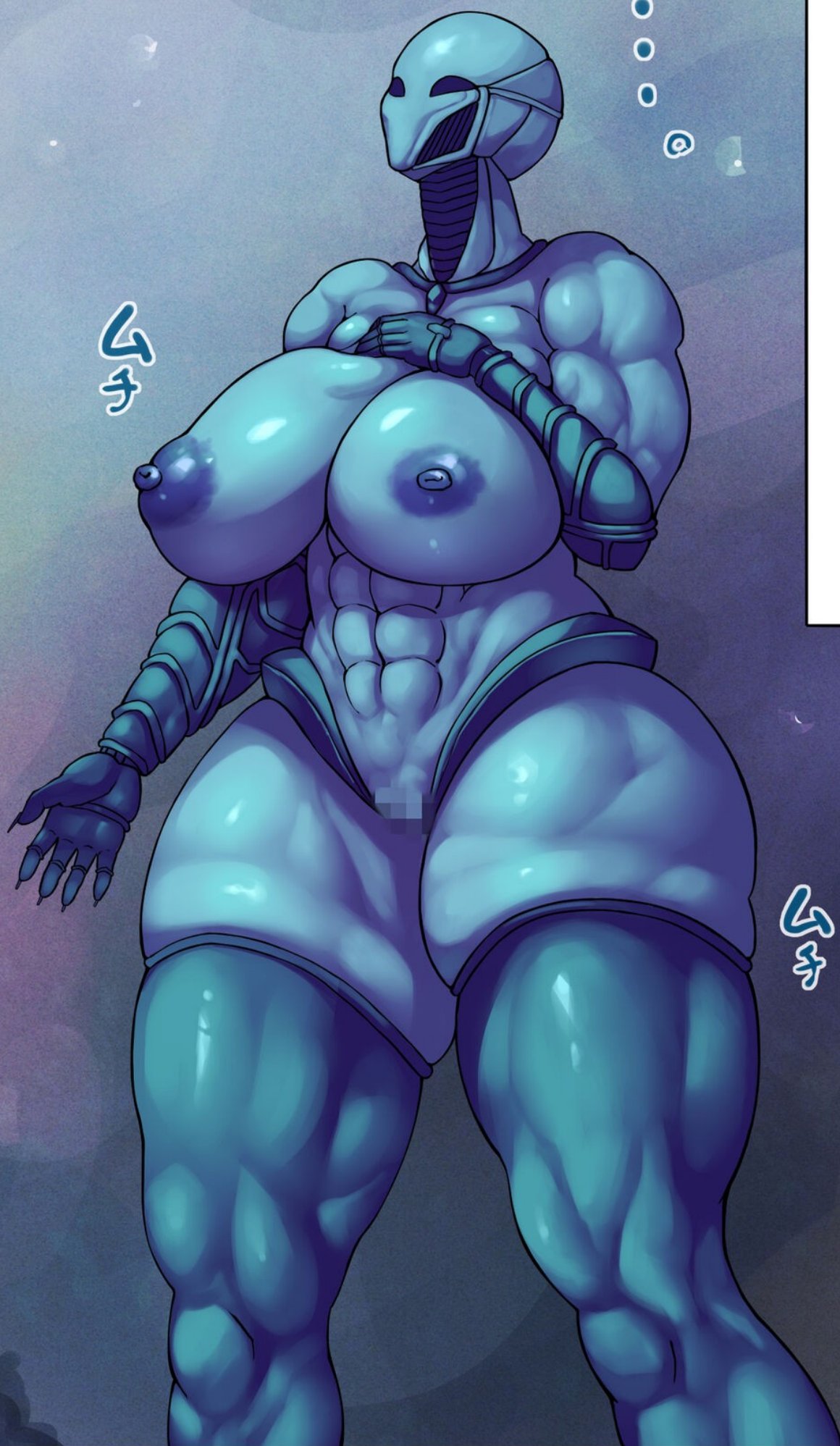
確かに・・・

はあ

はあ

ドキ
ドキ

人間ではないな・・・。



アパカッタ？

そう呼ばれている。
その土地の古い言葉で「凶暴な悪魔」
って意味だそうだ。

犠牲になった人は老若男女様々
だが、遺体が変わるんだ。

...

腕の本数が増えていたり、眼球が
異常に大きくなっていたり

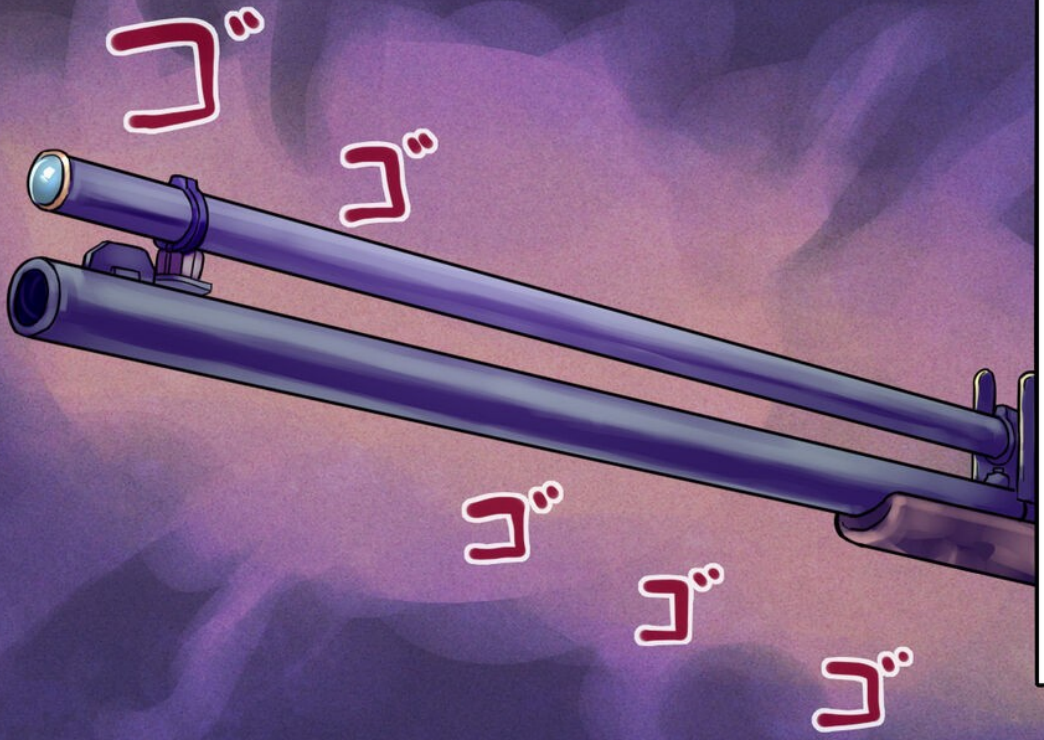
まるで何かの人体実験をしている
みたいで



何としても首を取ってきてくれ。

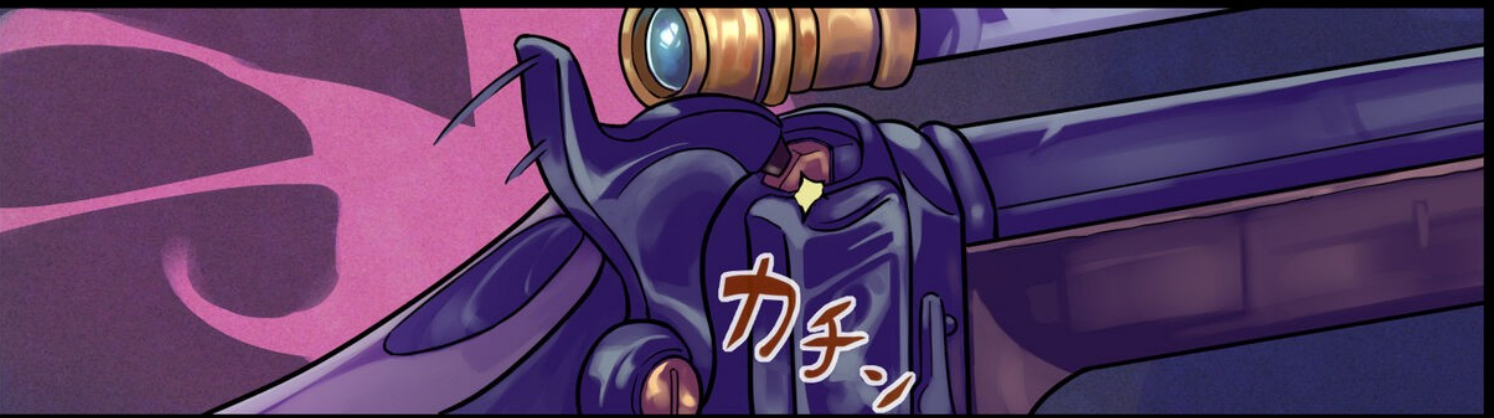
もし君が失敗したら、私はこの件から手を引く。あの土地はもう終わりだ。。。

まあ、どんな相手であっても



こいつで頭を撃ちぬけば、それで
仕事は終わりだ。

カチン



バチッ



ドォン





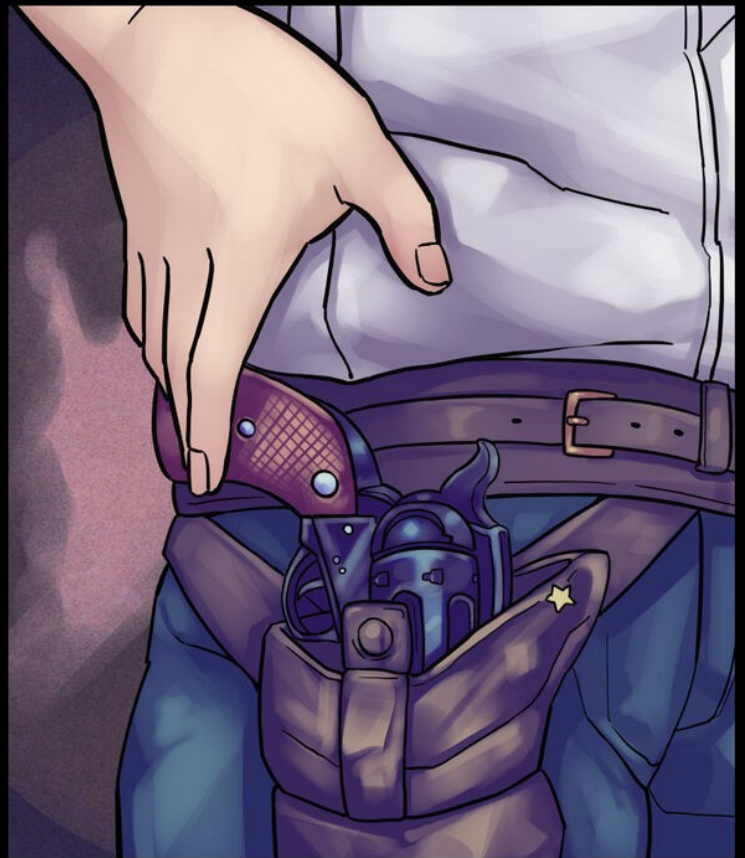
...

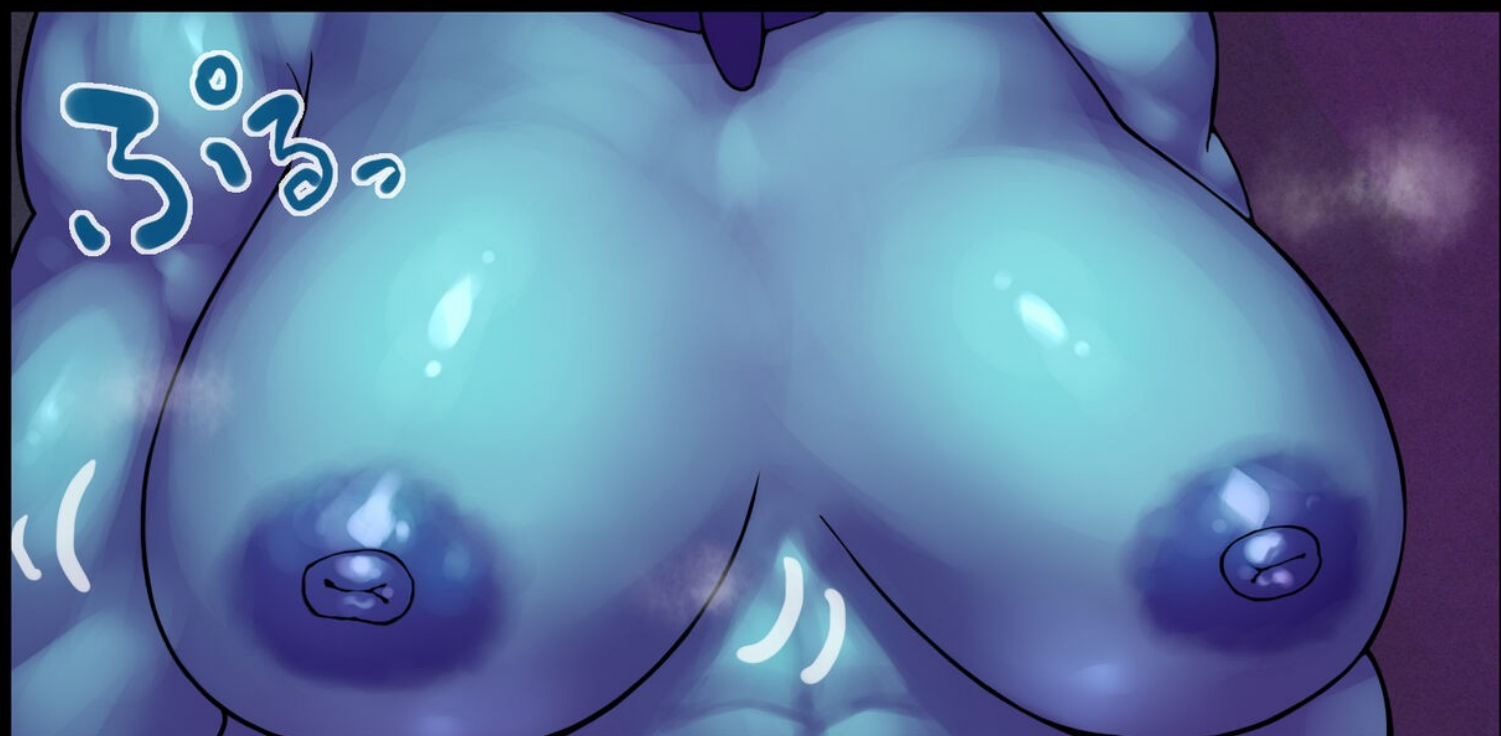
え、倒れない？

ドキ

ドキ







は？
無傷？

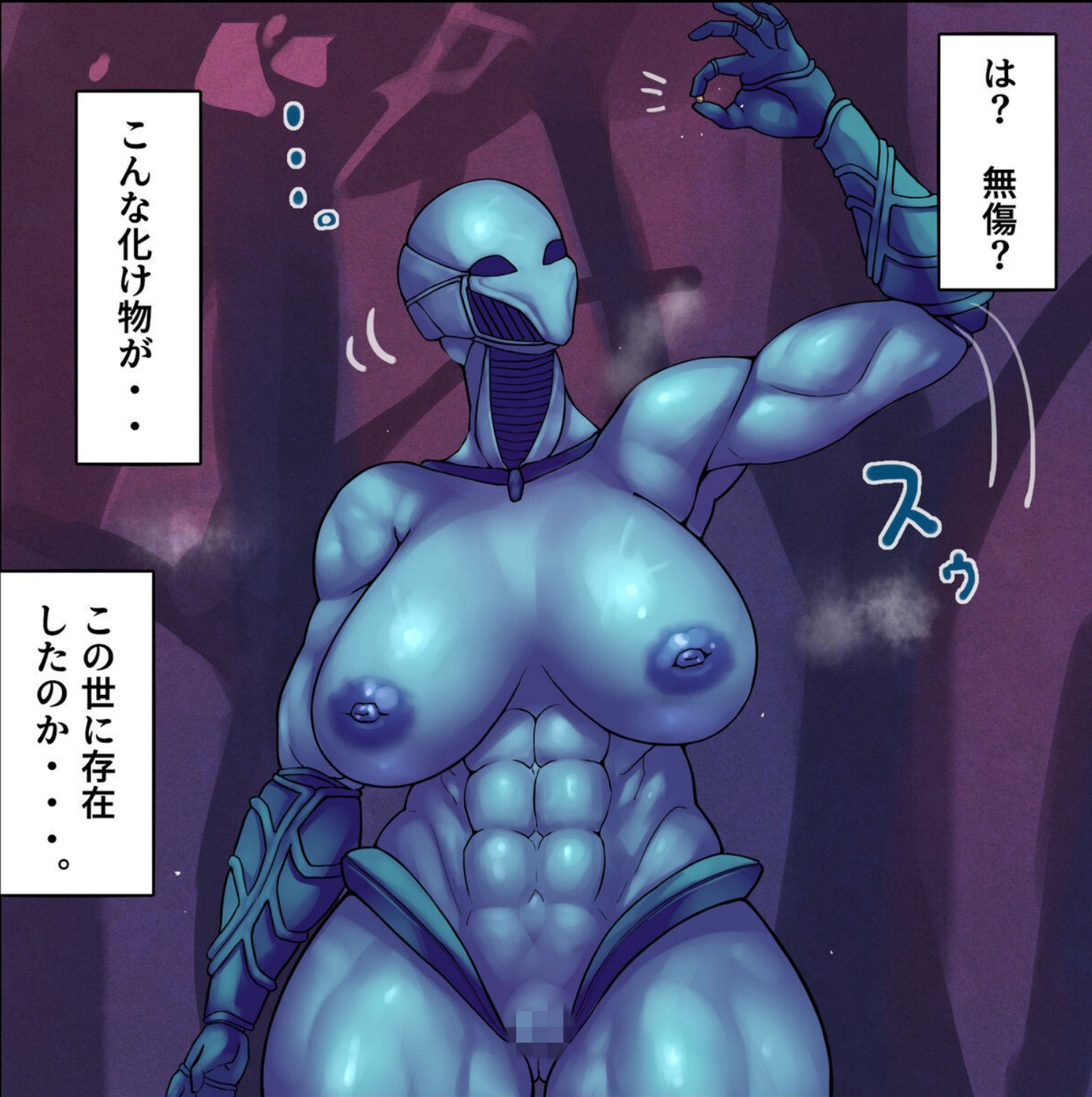
こんな化け物が…

スゥ

この世に存在
したのか…。

ぐっ！

カッ





はあっ

はあっ

機械か？

なんだこれは

生暖かい・・・。

手と足が、柔らかくて湿っている
何かで拘束されている。

全く動けない！

うね

うね

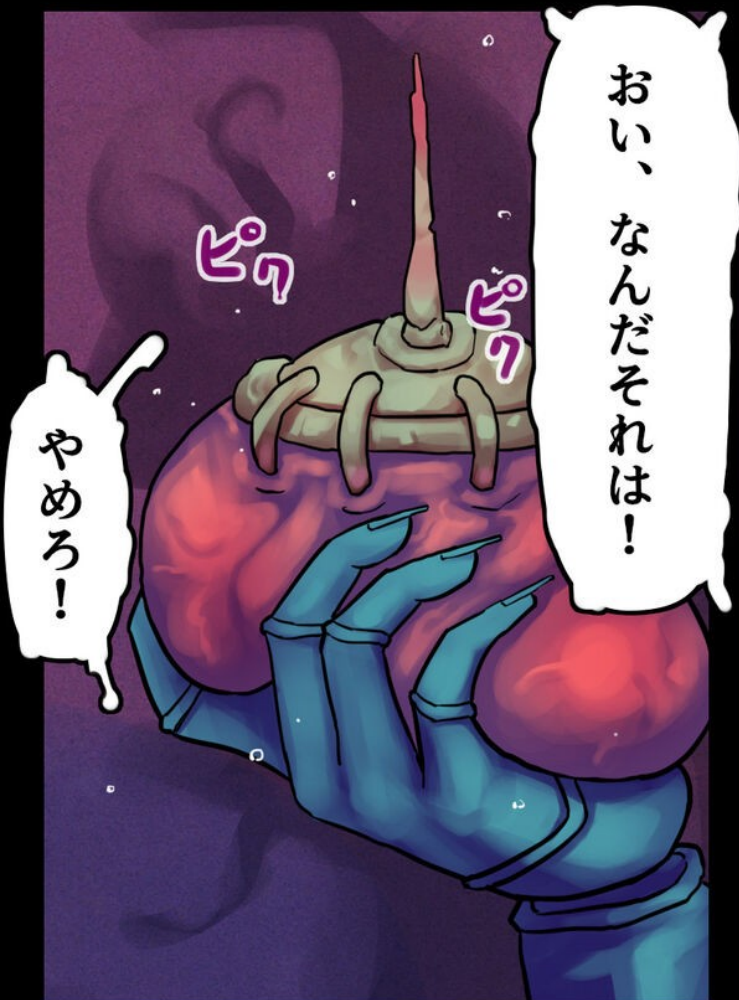
トロ

うね

もぞ

グニ

うね



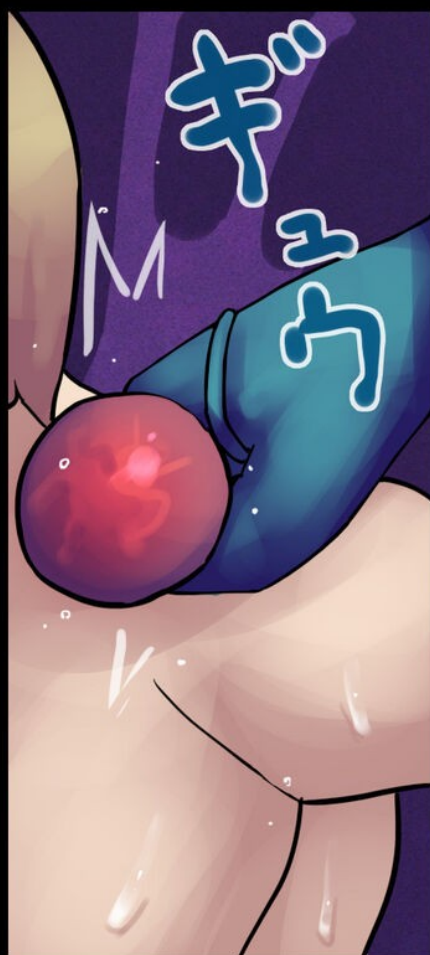
おい、なんだそれは!

やめろ!



こいつ、いったいなんなんだ!

ドクン



ぐああ!

グスッ



ぴく

いぢるるる

ぷちゅ



なんだこれ...

ブルッ

俺のものじゃないみたいだ。



グー

カバ

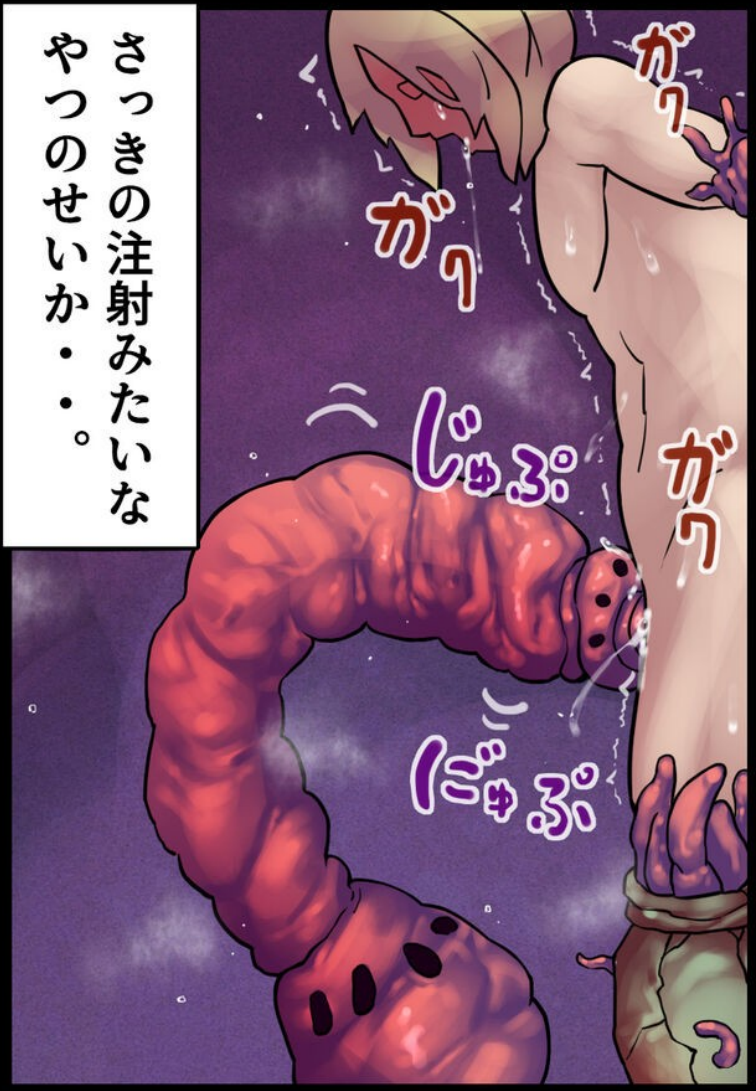
は。



くろくろくろ!

ズ
ブル
ルル

びく



さっきの注射みたいな
やつのせいかな。。。

ガ
ガ
じゅぷ
じゅぷ

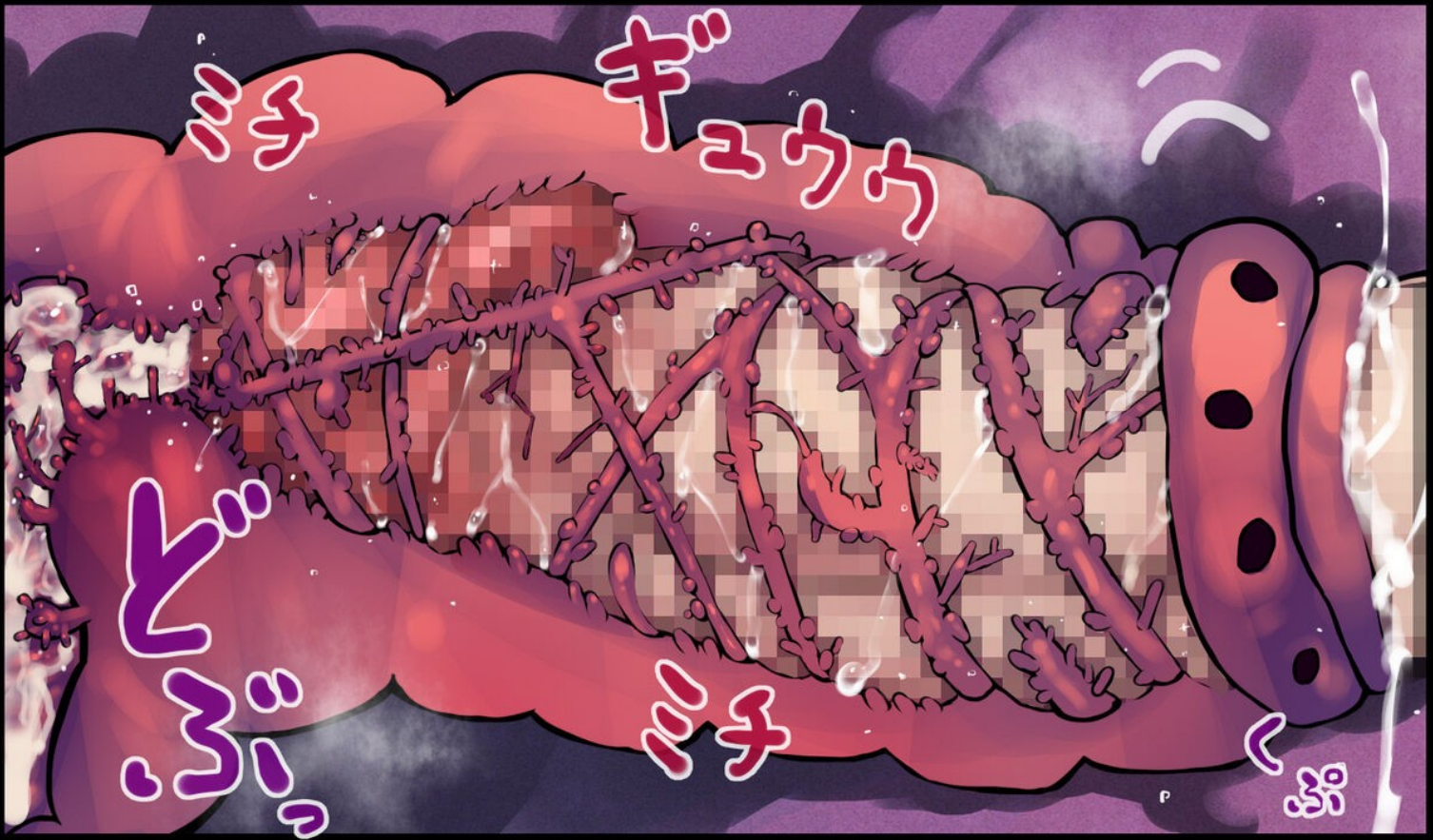


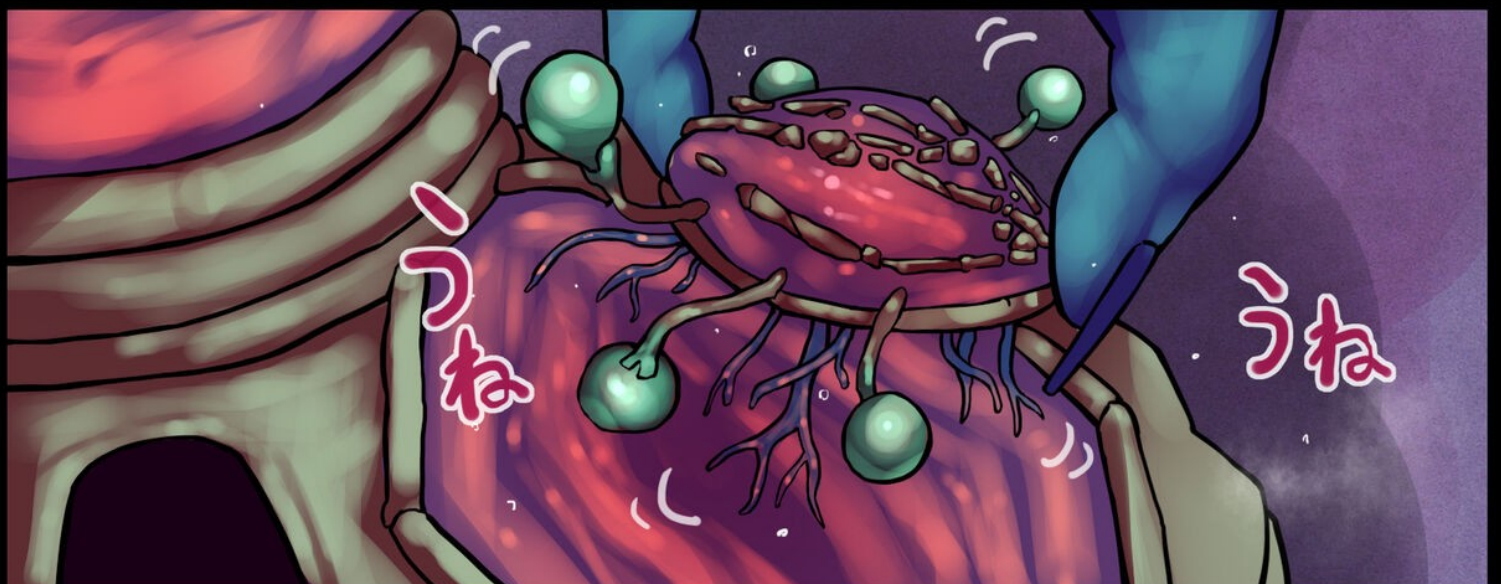
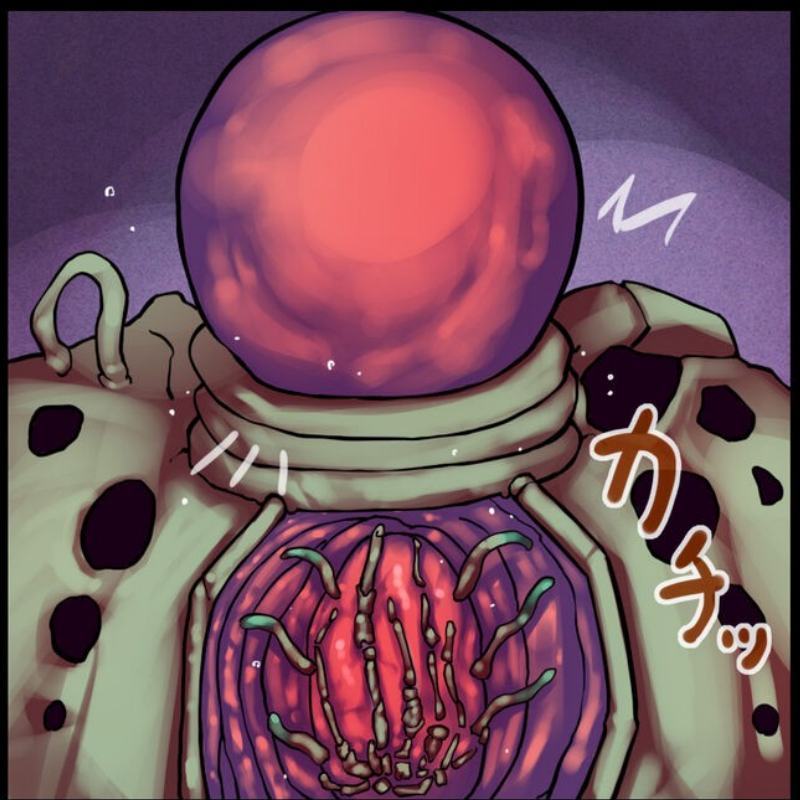
くそっ!

今まで感じたことがない・・・!

こんな感覚!

ビ
ビ
ビ

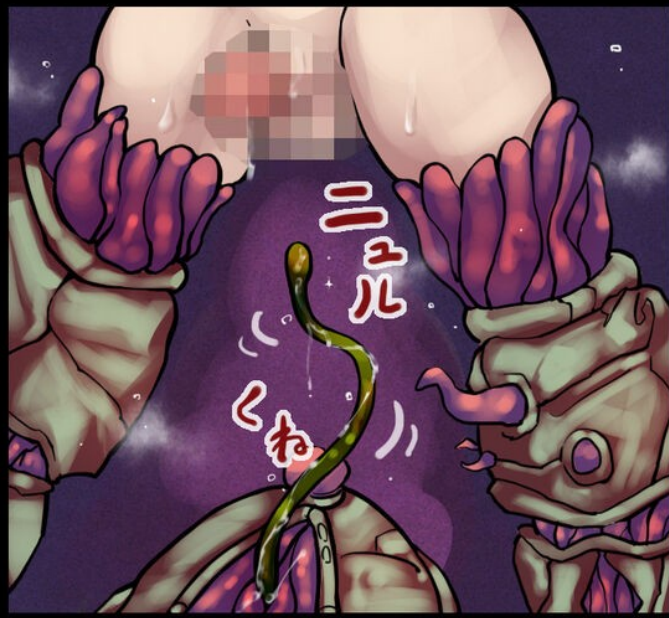




こいつは、いったい何が
目的なんだ・・・。



うね
うね



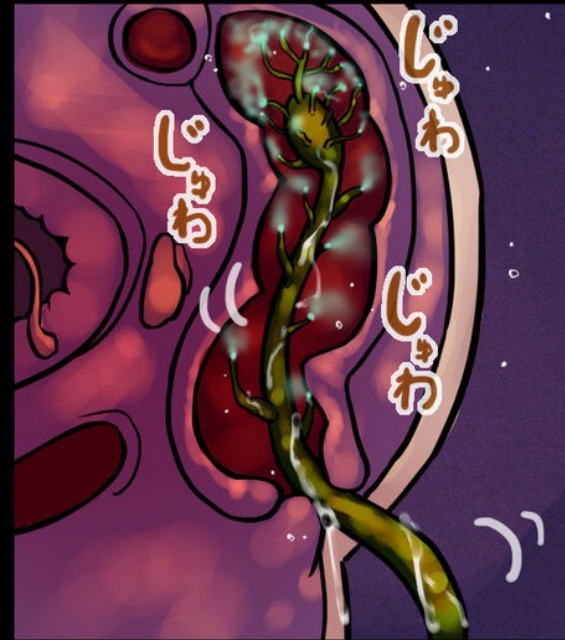
ニユル
くわ



がふ
もぐ



ポッ



いっわ
いっわ



ぐっ!

びく
びく



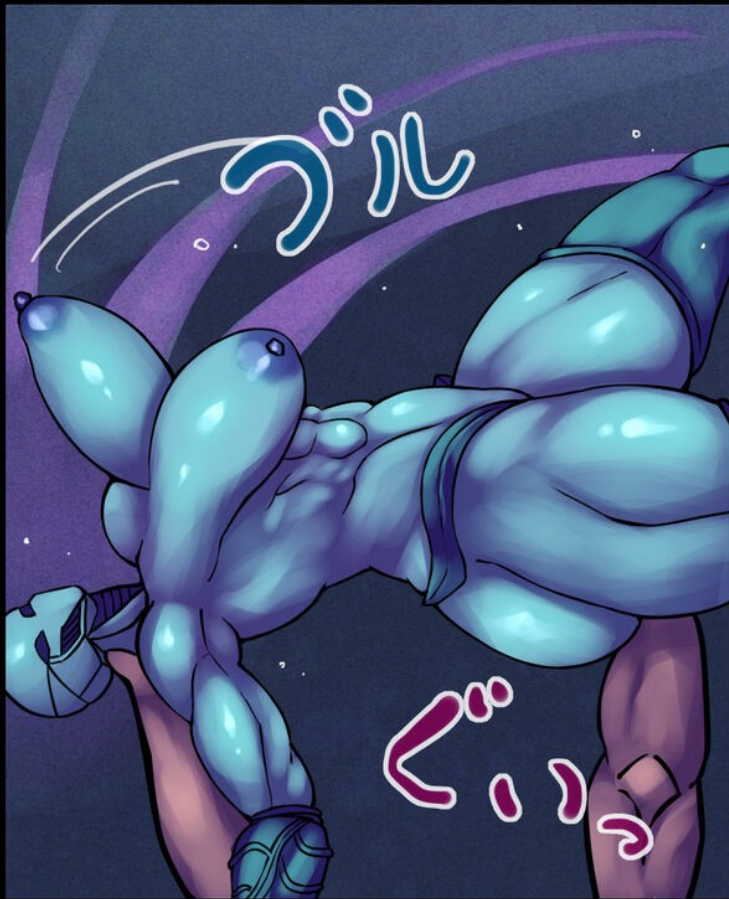














何か月もの間、正気を失った男は
ひたすらに怪物を犯し続けた。



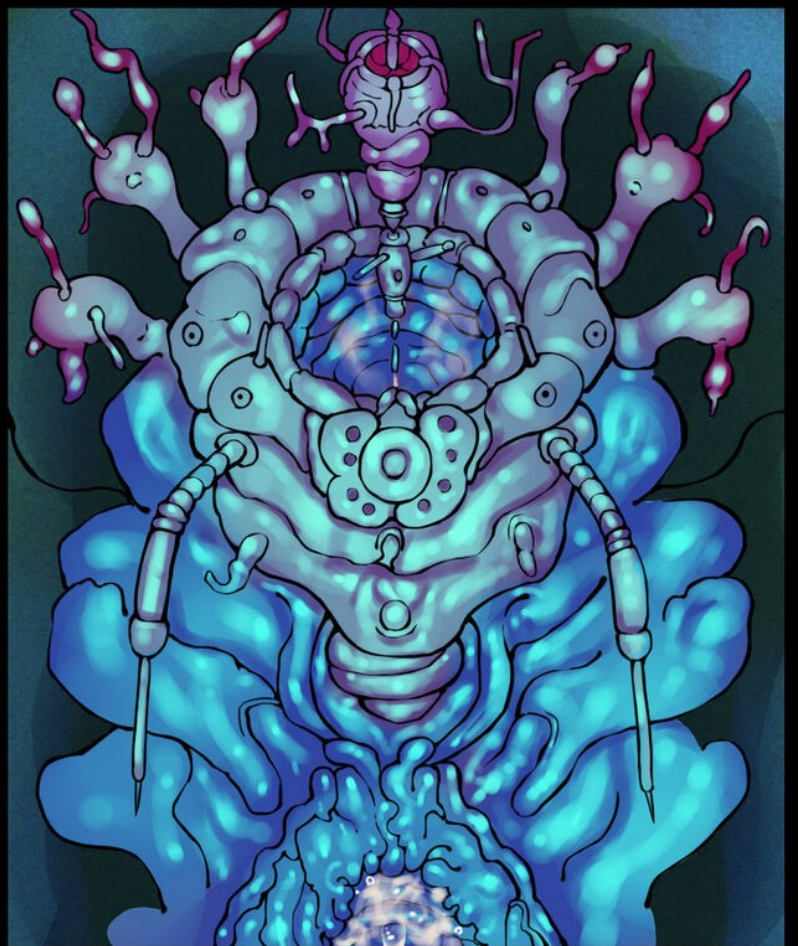
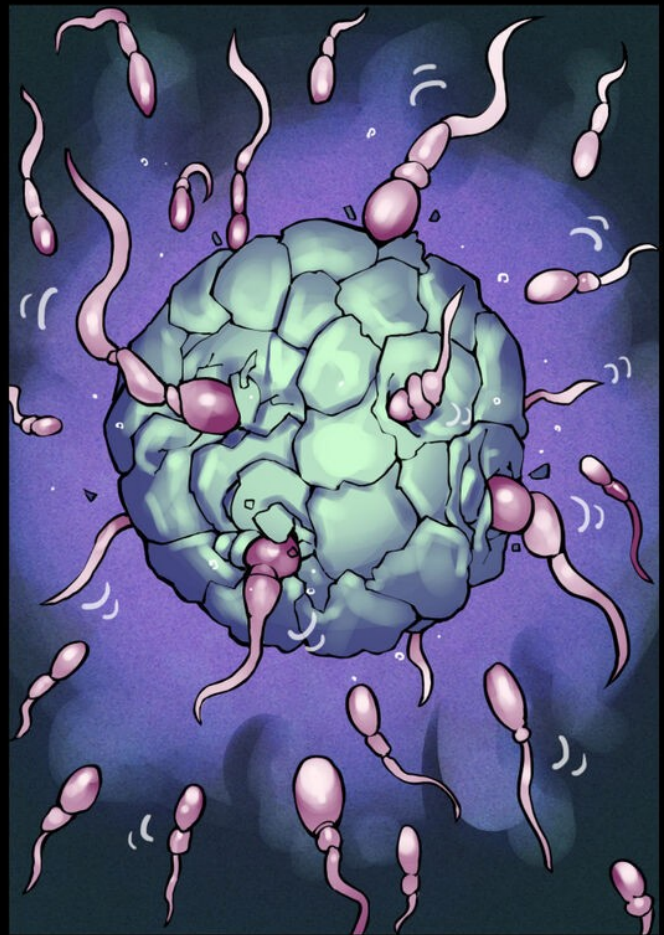
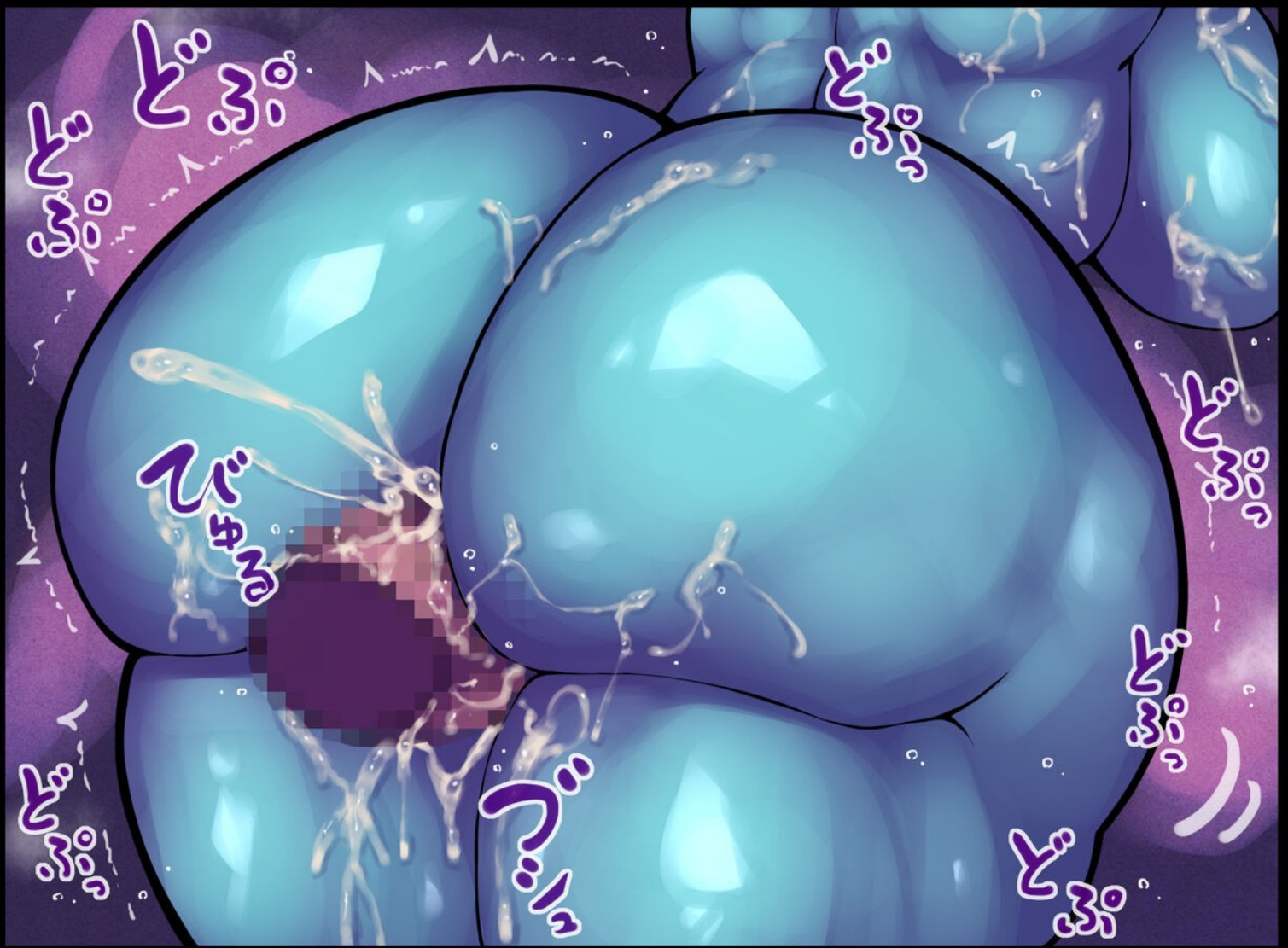
うーももー!

恐ろしいうめき声が昼夜問わず響き渡り、
近くの住民も動物たちも遠くへ逃げて行った。



ぐるう!

ぐるう!



捕らえられて数千時間後

うぐう！

もわ

わし

ぼて

どろ

ゴポ...

かぶ

もわ

もぐもぐ

もち

ドワン
ドワン

むち

ク

ク

ぶ

もわ

うぐう！





ちゅ

ちゅちゅ

ちゅちゅ

ちゅ

どぶ

どぶ

どぶどぶ

も

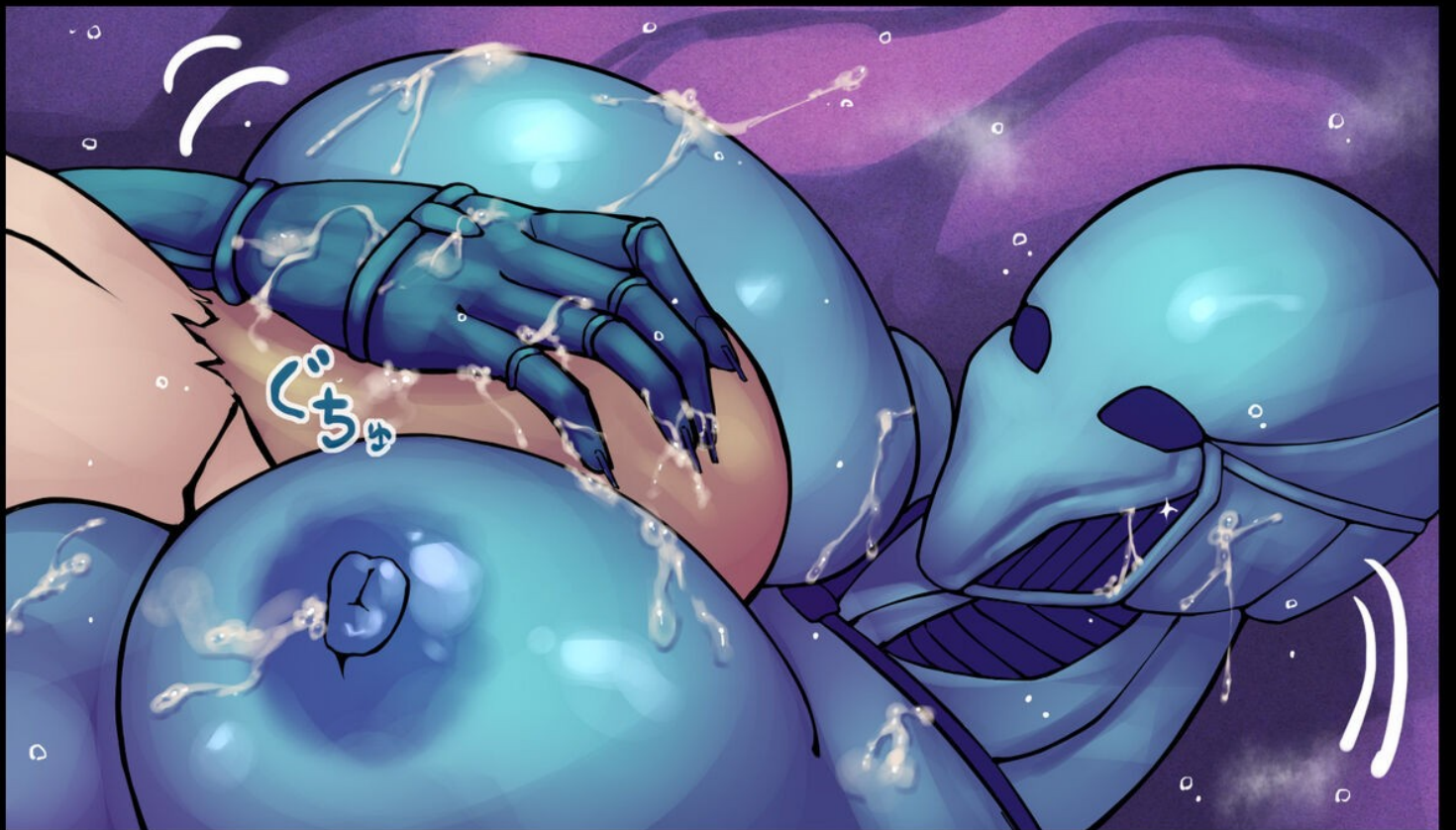
もに

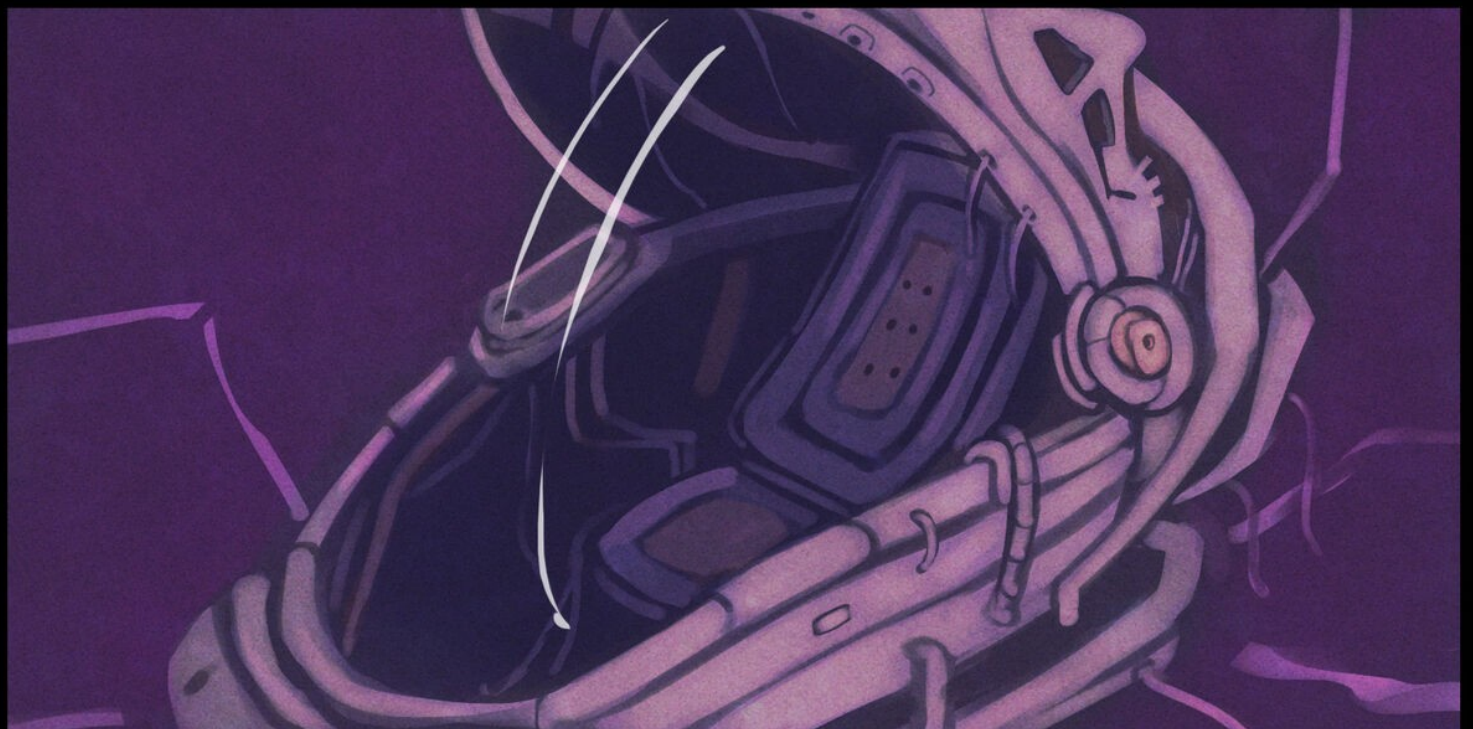
ぶ

が

し

ムキ





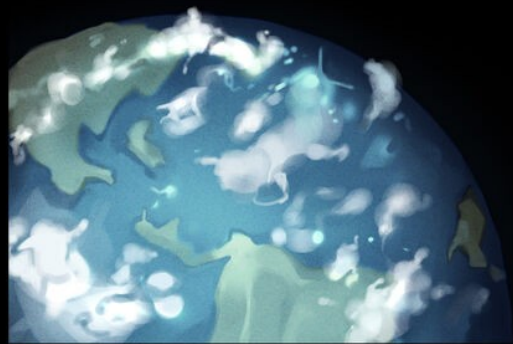


END

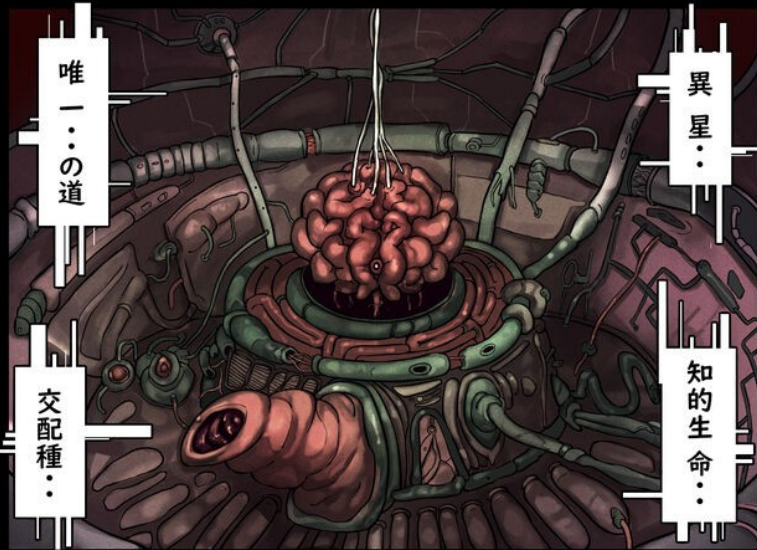
フッ



キーン



唯一の道



異星

知的生命

交配種



うーん



フッ

1890年 ルイジアナ

人間ではないな……。

ムチ

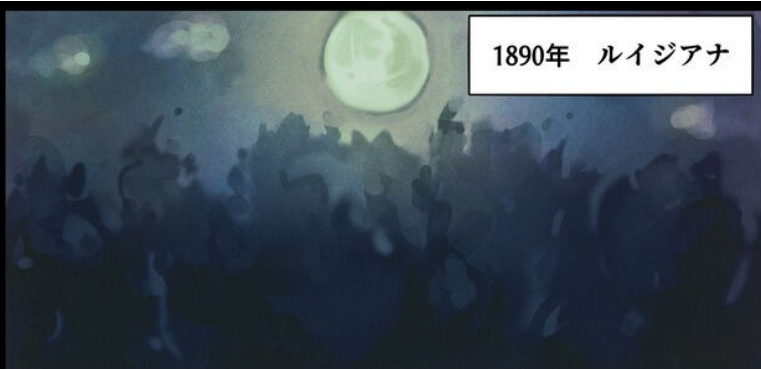
ムチ

確かに……

はあ

はあ

ドキ
ドキ



アパカッタ？

そう呼ばれている。
その土地の古い言葉で「凶暴な悪魔」
って意味だそうだ。

犠牲になった人は老若男女様々
だが、遺体が変わんだ。

何としても首を取ってきてくれ。

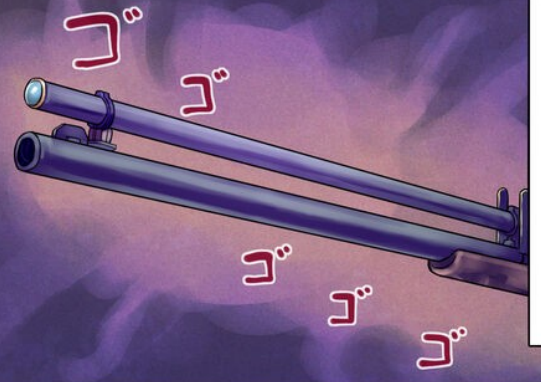
もし君が失敗したら、私はこの件から
手を引く。あの土地はもう終わりだ・・・。

・・・

腕の本数が増えていたり、眼球が
異常に大きくなっていたり

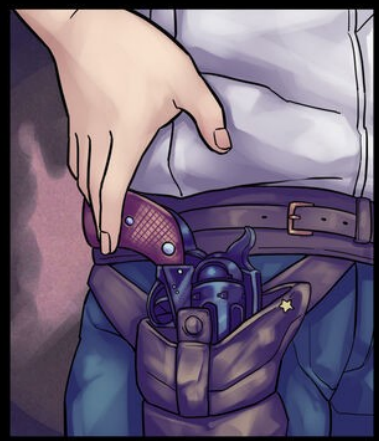
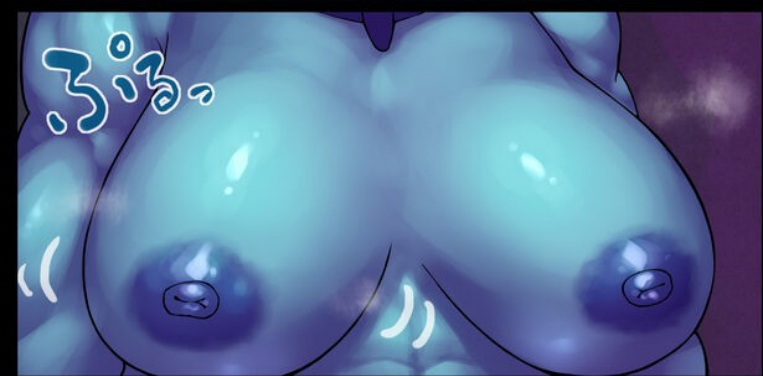
まるで何かの人体実験をしている
みたいで

まあ、どんな相手であっても



こいつで頭を撃ちぬけば、それで
仕事は終わりだ。







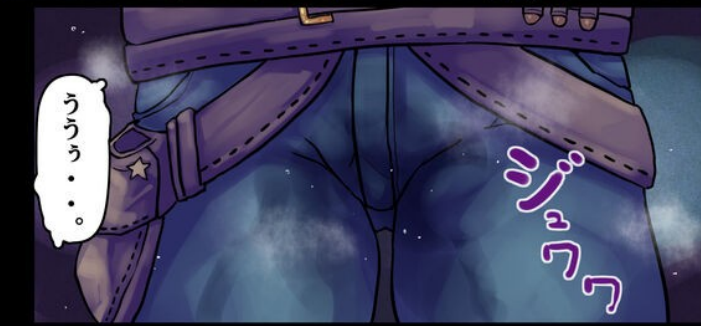
うぐう・・・

グッ

ブル

ブル

ブル



ううう・・・

ジューク



は？ 無傷？

こんな化け物が・・・

この世に存在したのか・・・

〇〇〇

スゥ



ぐっ！

カッ



おい、なんだそれは！

やめろ！



こいつ、いったい
なんなんだ！



ギョウ

ドクン



ブスッ

ぐああ！



はあっ

はあっ

なんだこれは

機械か？

手と足が、柔らかくて湿っている。
何かで拘束されている。

生暖かい...

全く動けない！



くううう!

ズ
ブル
ルル

びくっ



びく

に
ま
る

う
ま



なんだこれ...

ブルッ

俺のものじゃ
ないみたいだ。



さっきの注射みたいな
やつのせいかな...

ガッ
ガッ
びゅぶ
びゅぶ



くそっ!

ビク
ビク

こんな感覚!

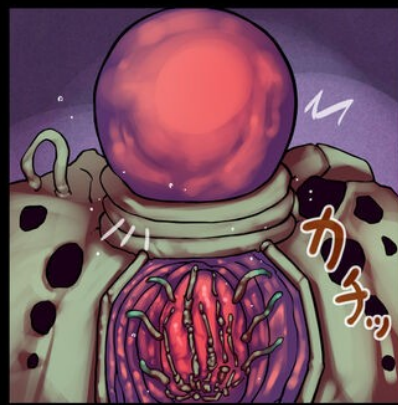
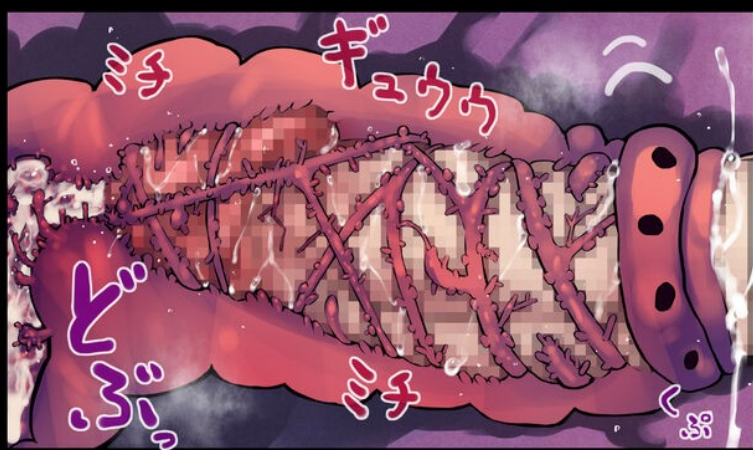
今まで感じたことがない...!



グ
ニュ

ガバ

ぱ

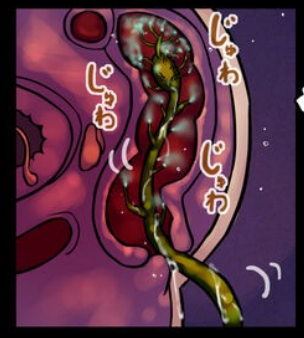




うぐあああ！



こいつは、いったい何が
目的なんだ...



ぐっ！





何か月もの間、正気を失った男は
ひたすらに怪物を犯し続けた。



恐ろしいうめき声が昼夜問わず響き渡り、
近くの住民も動物たちも遠くへ逃げて行った。

